

西宮市オリジナル植物による被災地復興支援事業

【概要】

「西宮市オリジナル植物」を東日本大震災被災地（宮城県女川町、南三陸町）に贈り、花と緑による心の支援・まちづくりの支援活動を行います。

事業は西宮市内ライオンズクラブ（8団体）と西宮市が協働で実施します。

【事業内容、実施時期および数量等】

- ・‘ゆめむらさき’プランター寄せ植えの提供

‘ゆめむらさき’のプランター寄せ植えを贈ります。

‘ゆめむらさき’は平成7年 阪神・淡路大震災の年に西宮市が開発し、この名前には市民からの公募により「震災の悲しい年に生まれたこの花に、明日への夢と希望を託して…」という思いが込められています。

提供時期は平成24年春期とし、提供数量は100基（各町50基）程度です。

⇒ 平成24年5月31日 各町に50基、計100基を贈呈

- ・サクラについて

‘西宮権現平桜’‘夙川舞桜’を贈り、復興のシンボル・西宮市との友好の証として再生したまちなみに植えます。

提供する樹木の形状は高さ1.5m前後の苗木とし、提供時期・数量等は被災地の復興状況を勘案し、今後の協議により決定します。 ⇒ 鹿による食害があるため、3m程度の成木とする

【役割分担】

ライオンズクラブ

- ・事業の企画・広報および市民等への募金活動。
- ・資材等の調達・提供。
- ・被災地への配送・配備。
- ・事業資金の運用・管理 等。

西宮市

- ・事業の企画・広報および市民等への協力依頼（募金活動を除く）。
- ・被災地との連絡・調整。
- ・植物材料の増殖、育成管理および提供。
- ・プランター寄せ植え作製および管理 等。

【実施フロー】

